

# IT・DX活用を紹介

## 三重・JA伊勢 県議の視察受け入れ

【三重・伊勢】JA伊勢は8月上旬、県議会議員環境生活農林水産常任委員会の視察を受け入れた。JAの職員が、IT・DX（デジタルトランスフォーメーション）や米の安定供給について取り組みを説明した。

委員会は、県議会の常任委員会の一つ。環境や生活、農林水産に関する条例案や予算案などを審議し、県議会での決定につなげる。IT・DXの取り組みでは、農家の生産履歴と職員の訪問指導履歴を合致させた「農家

カルテ」や、水稻育苗の予約ができる「水稻育苗予約注文システム」、職員向けに導入した「生成AI（人工知能）」などを、出席者に紹介した。米の安定供給についても説明した。

JAの担当者は「情

取り組みを説明するJA職員



報を共有し、意見を交換できたことは大きな成果。今後も新たな技術や手法を積極的に取り入れ、持続可能な農業の発展に貢献していきたい」と話した。